

元日

夏目漱石

青空文庫

元日を御目出たいものと極めたのは、一体何処の誰か知らない
 が、世間が夫れに雷同して居るうちは新聞社が困る丈である。
 雑録でも短篇でも小説でも乃至は俳句漢詩和歌でも、苟くも元日
 の紙上にあらわれる以上は、いくら元日らしい顔をしたって、元
 日の作でないに極っている。尤も師走に想像を逞しくしてはなら
 ぬと申し渡された次第でないから、節季に正月らしい振をして何
 か書いて置けば、年内に餅を搗いといて、一夜明けるや否や雑煮
 として頬張る位のものには違ないが、御目出たい実景の乏しい今
 日、御目出たい想像などは容易に新聞社の頭に宿るものではない。
 それを無理に御目出たがろうとすると、所謂太倉の粟陳々相

んちんあいよ
依よるといすこぶう頗める目出度めでたくない現象に腐化して仕舞しまう。

諸君子は已やむを得ず年にちなんで、鶏の事を書いたり、犬の事を書いたりするが、これは寧むしろ駄洒落だじゃれを引き延ばした位のもので、要するに元日及び新年の実質とは痛つうよう痒あい相お冒かす所なき閑事業である。いくら初刷だつて、そんな無駄話ペーで十頁も二十頁も埋られた日には、元日の新聞は単に重量おに於おて各社ともに競争する訳になるんだから、其の出来不出来に対する具眼の審判者は、読者のうちでただ屑屋丈くずやだけだろうと云われたつて仕方がない。

さればと云つて、既に何十頁と事が極きまつてる上に、頭数そろを揃そろえる方が便利だと云う訳であつて見れば、たとい具眼者が屑屋きようじやだろうが経師屋きようじやだろうが相手を扱えらんで筆とを執とるなんて贅ぜ沢いたくの云わ

れた家業かぎょうじやない。去年は「元旦」と見出を置いて一寸ちよつと考へた。何も浮うかんで来なかつたので、一昨年いっさくぜんの元旦の事を書いた。一昨年いっさくぜんの元旦に虚子が年始としはじめに来たから、東とう北ほくと云う謡うたいをうたつたところ、虚子が鼓を打ち出したので、余あまの謡うたいが大崩おおくずれになつたという一段を編へん輯しゅうへ廻まわした。実は本当の元旦なら、余あまの謡うたいもつと上手になつてゐる訳だから、其の上手になつた所ところを有ありの儘ままに告白こくはくしたかつたのだが、如何いかんせん、筆ふでを執とつてゐる時は、元旦にまだ間まがあつたし、且かつ虚子が年始としはじめに見えりとも見えないとも極きまつていなかつた上に、謡うたいをうたう事も全然未定みていだつたので、営業やうぎやう上じやう已むを得えず一年前の極きわめて告白こくはくし難がたい所ところを告白こくはくしたのである。此の順しゆんで行くと此年は又去年の元旦げんたいを讀者しやくしやに御覽ごらんに入れなければならん

訳であるが、そうそう過去のまずい所ばかり吹聴ふいちようするのは、如何いかにも現在の己に対して侮辱を加えるようで済まない気がするから故意わざと略した。それで猶なほのこと塞つかえた。

元日新聞へ載のせるものには、どうも斯こう云う困難が附帯して弱る。現に今原稿紙に向つてゐるのは、実を云うと十二月二十三日である。家うちでは餅もちもまだ搗つかない。町内で松飾りを立てたものは一軒もない。机の前に坐すわりながら何を書こうかと考えると、書く事の困難以外に何だか自分一人御先走おさきばしつてる様な気がする。それにも拘かわらず、書いてる事が何処どことなく屠蘇とその香かを帯びているのは、正月を迎える想像力が豊富なためではない。何でも接つぎ合せて物にしなければならぬ義務を心得た文学者だからである。

もし世間が元日に対する僻見へきけんを撤回して、吉凶禍福きつぎょうかふく共にこもごも起り得べき、平凡かつ且乱雑なる一日と見倣みなして呉くれる様になつたら、余も亦余所行またよそゆきの色氣を抜いて平常の心に立ち返る事が出来るから、たとい書く事に酔払いの調子が失せないにしても、もつと楽に片付けられるだろうと思う。尤ももつとそうなれば、初刷の頁も平常に復する訳だから、とくに元日に限つて書かねばならぬ必要も消滅するかも知れない。それも物淋ものさびしい様だが、昨今の如き元日に対して調子を合せた文章を書こうとするのは、丁度文ちやうど部大臣が新しい材料のないのに拘かかわらず、あらゆる卒業式に臨んで祝詞を読むと一般である。

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚版 夏目漱石全集 10」筑摩書房

1972（昭和47）年1月10日第1刷発行

初出：「朝日新聞」

1910（明治43）年1月1日

入力：Nana ohbe

校正：米田進

2002年5月10日作成

2003年5月11日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

元日

夏目漱石

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>